

みんなで まちづくり



豊田地区まちづくり協議会 広報 第28号

【事務局】 (令和5年1月発行)

住 所：下関市豊田町大字矢田149番地1
(豊田生涯学習センター内)

TEL：083-766-0775 (Fax 兼用)

メール：toyota.machizukuri@clock.ocn.ne.jp

在室日：火・木曜日 (9:00~17:00)

明けましておめでとうございます

一歩ずつの 成長 と 飛躍 を目指して

会 長 田中 達雄

平成28年1月31日に船出した本協議会は、7年目の新春を迎えることとなりました。

令和5年(2023年)は「癸卯(みずのと・う)」の年で、「癸」と「卯」の組み合わせは、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年になると言われています。

令和2年、3年は、コロナ禍のため、予定していた行事の一部は中止・縮小せざるを得ない年でしたが、令和4年度は、5月に会員一同対面での「通常総会」、7月に自然豊かな豊田を紹介する「しもまちスタンプラリー」の参加、10月に「第1回まち中花いっぱいフォトコンテスト」の募集、11月に3年ぶりの「三笑亭可風師匠の落語会」など徐々にではありますがまちづくり協議会の活動に取り組むことができました。また、グラウンドゴルフ大会も3月に開催する予定にしております。

さらに、令和3年3月に策定した5ヶ年計画(2021年から2025年)「やっば ここに住みたいまち 豊田」を進めるため、まず、廃校となった学校跡地活用として現状の管理状況を把握し、今後の活用・支援の取組についての検討を進めています。また、豊田町の目指すべき将来像を模索するため、町内の小・中・高校生に「豊田町の将来を考える」をテーマにアンケートを行いました。将来を担う若者の意見は、今後の豊田町の発展とまちづくり協議会の活動を進めるうえでも貴重なものと考えています。

本年は、まちづくり協議会の「一歩ずつの成長と飛躍を目指して」皆様と一緒に取り組んでまいりたいと思っておりますのでご支援・ご協力をお願いします。

コロナ禍は第8波に入りつつあるとのことですが、今年こそは収束することを願いながら新年のご挨拶といたします。



豊田の良さ再発見～しもまちスタンプラリー～

7月21日～10月31日まで開催された「しもまちスタンプラリー」で豊田地区には215名の参加がありました。参加された皆さんから、豊田が元気になるような素敵な感想をたくさんいただきましたので、その一部を紹介します。(原文の通り)

❁ 昨年は豊田が無かったのですごく楽しみにしていました。馴染みのあるところで、不安なく、楽しく回らせていただきました。これからも豊田町を応援させていただきます。ありがとうございました。

❁ 初めての参加でまずは地元からチャレンジしました。新しい発見もあり、地元愛を再認識できました。コロナ禍でも楽しめました。

❁ ちょうど稲刈り前、田んぼの景色が綺麗な時に豊田町のポイントを回ったので、素敵なドライブを楽しめました。5か所のうち、湖畔公園には初めて行きましたが、広さや施設にびっくりしました。

❁ 豊田湖畔公園やホテルミュージアムなど初めて行って、自然豊かでもっとも楽しそうなおところだと思ったので次はスタンプのためではなく利用しに行きたいと思いました。

❁ 今日は、自宅の安岡から、内日→菊川→豊田エリアの順にラリーをまわってきました。それぞれに思い出はありますが、豊田エリアは特にすごかった。みのりの丘も「こんなところがあったのか」となりましたが、豊田湖畔公園ではその驚きをはるかに超えて、子どもたちが帰りがりませんでした。日を変えて、豊田湖畔公園にはまた遊びに行こうと思います。

❁ ついに、一ノ俣観光ホテル再開したんですね！このラリーポイントに入っていることで知りました。そして、豊田のラリーポイントはいい感じに豊田のエリアをまわれるようになっていて、豊田の広さも体感しつつ、ここにしかない魅力を満喫できるようになっていました。行く先々に、どこでもドアがあったこともテンションあがりましたし、みのりの丘がとっても居心地が良くて気に入りました。子どもは豊田湖畔公園が非常に気に入ったので、必ずまた行こうねと話しています。コロナ禍ですが、良い夏の思い出ができました。ありがとうございました。

3年ぶりに開催された豊田落語会



11月19日(土) コロナで中止となっていた恒例の豊田落語会が3年ぶりに西市公民館で開催されました。

落語を愛する皆さんが、三笑亭可風さんの楽しい噺に、暫しコロナ禍を忘れ、笑いに包まれた楽しいひと時を過ごされました。



第2回空き家調査実施 (実施期間 11月25日～1月31日)

平成28年に第1回目を実施してからかなりの期間が経ちましたので、地域の安全と、地域活性化の一つでもある空き家の再利用を目指して第2回空き家調査を実施しています。自治会長さんが調査に回られると思いますので、情報提供等にご協力をお願いします。調査期間終了後も物件が見つかった場合は、直接まちづくり協議会に連絡していただいても結構です。

★殿居地区★ 同じ時の中で ～殿居ふるさとまつり～



銭太鼓(さくら会殿居支部)

10月30日(日)穏やかな秋晴れの中、旧殿居小学校体育館において、殿居ふるさとまつり(殿居ふるさとまつり実行委員会主催)が3年ぶりに開催されました。

地元の皆さんの手芸・書・絵画・生け花などの展示作品が館内を彩る中、ステージにおいては、小学生による浦安の舞や、地域の多様なサークルの皆さんのパフォーマンスの数々、全員でトライした健康体操や、大いに盛り上がったくじびき・ジャンケン大会、さらには、駐在所

による警察からのお知らせ、「ふるさと」の全員合唱、大盛況だった野菜市やもったいないバザールなど、多くの出し物やミニイベントが催され、150人に及んだ参加者の皆さんは、同じ時の中で、秋の一日を楽しんでいました。

この日、久しぶりに会った友人・知人、そのお互いの会話の声にもうれしさが溢れ、あちらこちらでマスク越しでも分かるほどの笑顔が弾けている様子が見られました。



書道パフォーマンス(平野書道教室)

★三豊地区★ 3年ぶりに開催！三豊公民館・ナイターまつり！



8月20日(土)コロナ禍のため開催中止を余儀なくされていた、三豊地区公民館・ナイターまつりが3年ぶりに開催されました。当日は雨模様のため計画されていたモルック大会は、グラウンドの状態が悪いため、残念ながら中止となりました。しかし日頃の皆さんの行いが良いのか、花火大会の時間には雨もあがり、花火は無事に打ち上げることができました！頭上間近にせまる花火は迫力があり、コロナ禍で沈みがちな気持ちをパッと明るくさせてくれました。また、三豊公民館では、講座の紹介、講座作品や地域の方による数々の手芸作品の展示、また、美しい風景写真の展示など力作が並び、見る人の関心を集めていました。



★西市地区★ 西市小 ホタルさよなら集会



11月12日(土)ホタルサポーターや保護者が見守る中ホタルさよなら集会が開催されました。

オープニングで5・6年生による金管バンド演奏が行われました。

令和4年度は、全校児童がホタル飼育に携わり、集会はホタルクラブ部員が飼育に関して、砂や水の量、水槽環境について発表がありました。その後、全員で山田川へ移動して幼虫を放流し、「来年のホタル祭り」の頃には、成虫となったホタルとどこかで会えることを願いました。



各地区の情報コーナー

★豊田中地区★ 工事が進む山陰道「俵山・豊田道路」



上八道付近

豊田インターチェンジ(仮称)から俵山北インターチェンジまでの俵山・豊田道路(延長13.9km)は、山陰道の一部を形成する路線であり、令和元年(2019年)9月に開通した長門・俵山道路(延長5.5km)に繋がります。

この路線は、災害時の代替路や広域的な観光周遊道路、救急医療活動の支援等、地域の安全・安心の確保等を目的としており、広域交流の促進及び地域活性化に寄与することも期待されています。

豊田中地区ではルートに当たる稲見・金道・上八道で建設工事が行われています。上八道では栗野川橋(35m)の橋梁工事等が行われ、稲見では全長約1,980mのトンネルの掘削工事等に向け、取付道路の建設が進められています。

俵山・豊田道路は、片側1車線の2車線道路として整備が進められていますが、金道付近には追い越し車線が設けられ、片側2車線の4車線となる予定です。



金道付近

★豊田下地区★ 伝承される万年願笹踊り



秋季例祭で笹踊りを奉納

豊田下小学校の子どもたち12名は11月3日、豊田神社「秋季例祭」の日、神前で堂々と踊りを奉納しました。

この日のため10月29日(土)から、豊田下小学校の体育館で小学生12名が豊田神社「秋季例祭」に奉納する万年願笹踊りの練習を行いました。

子どもたちは、万年願笹踊り保存会(会長竹永寛)の皆さんの身振りに習い、何度も繰り返し練習し、揃って踊れるようになりました。

万年願笹踊りは、稲光にあった赤崎神社(現在は、豊田神社朝日神社に合祀されている)で、およそ350年前、農耕に貴重な牛馬の無病息災を祈願し、神前で踊ったのが起こりと伝えられています。

5年生の河野桜愛さんは「昔から伝わってきた踊りなので、これからも続けていきたい」と意気込みを話してくれました。



熱の入った練習